



赤

(あか)

CO M100 Y78 K0 ■ #d71d3b

明るいことを意味する「明し」が元になって生まれた、歴史ある色の名前です。太陽や炎、生命を象徴する色でもあり、現在では暖色系の中心となる色です。赤には災いを避ける力があるといわれており、神社の鳥居など、神聖な場所には赤く塗られたものが多くあります。

紅色

(べにいろ)

CO M100 Y65 K10 ■ #d7003a

紅花に由来する鮮やかな赤色。エジプト原産のキク科の植物で、古くから染色や化粧品原料として使われてきた花です。黄赤色の花びらから黄色い色素を洗い流して、赤色を抽出します。紅色という色の名は、化粧品が普及しはじめた江戸時代から使われるようになりました。